年度末報告書（資金分配団体）

● 提　出　日　：　2022 年　5 月　10 日
● 事　業　名　：　障害児等の体験格差解消事業
● 資金分配団体　：　公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団
● 新型コロナウイルス対応緊急支援助成（通常枠での追加助成）の有無　：　☑有　☐無

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
１．支援地域において、障害児や児童養護施設等の子供が、水辺の自然体験に参加できる状態となる。	①実行団体が水辺の自然体験活動を実施する回数 ②参加する学校・団体の数 ③参加する子供の人数	①平均 16 回 ②平均 8 団体。別途個人あり。 ③400 人(延べ 2,200 人)	2023 年 2 月	① 2021 年 4 月～2022 年 3 月 実施回数　337 回 目標の平均 16 回は超えたが、オーシャンファミリーが 220 回と突出しているため、117 回を 9 団体で割ると 1 団体平均 13 回となる。 ② 水辺の体験活動の	①2 ②1 ③1

				有無に拘わらず連携・協力・支援する団体と学校の数。 団体　95 団体 学校　67 校 団体数だけでも目標とした平均 8 団体は超えている。 ③ 参加人数は次のとおり。 障害児等　761 人 (延べ　1,488 人) 健常児　782 人 (延べ　3,312 人) 計 1,543 人 (延べ　4,800 人) 成人参加者を加えると 2,423 人、延べ 6,146 人 2020 年度 障害児等　延べ 616 人 健常児　延べ 1,496 人 計　2,112 人	

２．支援地域において、障害児やひとり親家庭等の保護者が、水辺の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	①水辺の自然体験を見学した保護者の数 ②水辺の自然体験を見学した保護者の満足度	①支援対象地域全体で 500 人（初期値から 3.5 倍） ②満足度の向上（エンドライン調査を行いベースラインと比較する）	2023 年 2 月	① 99 人(延べ 152 人) 見学する保護者より、体験する保護者の方が多い。 体験保護者　262 人(延べ 489 人) ② 2021 年度アンケートは集計・分析中。	①4 左項参照 ②4
３．支援地域において、障害児支援施設や児童養護施設、ひとり親支援団体等のスタッフが、水辺の自然体験について、その有効性を認識している状態となる。	①水辺の自然体験を体験したスタッフの数 ②水辺の自然体験を体験したスタッフの満足度	①支援対象地域全体で 550 人（初期値から 5 倍） ②満足度の向上（エンドライン調査を行いベースラインと比較する）	2023 年 2 月	①214 人(延 1,292 人) ②2021 年度アンケートは集計・分析中	①3 ②4
４．支援地域において、学校や団体等が、水辺の自然体験に連携・協力・支援する状態となる。	①連携・協力・支援する学校・団体等の数 ②水辺の自然体験推進団体以外で連携・協力・支援する学校・団	①支援対象地域全体で 60 事業者（初期値の 2 倍） ②支援対象地域全体で 60 事業者（初期値の 2 倍）	2023 年 2 月	① 114 事業者（58 校＋56 団体） ② 48 事業者（9 校＋39 団体）	①1 ②1

	体等の数 ③水辺の自然体験を見学した学校・団体等の数	③支援対象地域全体で 20 事業者（初期値の 2 倍）		③ 51 事業者（13 校＋38 団体）	③1
５.支援地域において、新型コロナウイルス感染症対策を講じたことにより、障害児や児童養護韋施設の子供たちが安全に水辺の自然体験に参加できる状態になる。	①器材・設備等の拡充及び必要な人材を確保することで三密対策等の安全対策を講じた事業が実施できている状態	①支援対象地域全体で新型コロナウイルス感染症の十分な安全対策を講じて事業を実施している状態	2022 年 11 月	① 2021 年度は 10 団体の総実施回数、総参加人数とも 2020 年度を超え、リモートでの活動などを含め、コロナ対策を講じて事業活動を実施している状態となっている。	①1

【非資金的支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況＊
6. 支援地域において、資金分配団体による伴走支援により、実行団体間や連携協力団体とのネットワークが深まる。	①実行団体間と定期的なコミュニケーションがある連携協力団体との状態 ②資金分配団体と実行団体間の事例等を共有する会議等が開催される状態	①事業を通じて頻繁に連絡を取る状態になる ②支援対象地域全体で年 2 回以上の開催	2023 年 2 月	① 対象事業の進捗・拡大に伴い、実行団体と、自然体験提供団体や障害者支援組織との連携協力がより密接になってきている様子が見受けられる。また、新たに資金分配団体の支援により大学との連携を構築開始している実行団体がある(海の達人)。 ② 実行団体間の情報共有を目的とした全体会議を年 2 回開催した。2022 年	①1 ②2

				度は3回を予定し、助成終了後の本事業の継続方法等について確認していく予定。	
7. 支援地域において、資金分配団体により、実行団体への様々なサポートが行われる。	①情報共有会議の開催やサポートの回数等、実行団体に行った支援の回数	①資金分配団体から実行団体への電話・メール・テレビ会議等での月2回以上の助言を含め、現地でのプログラム等に対する助言などを行う。年に2回。	2023年2月	① 休眠預金事業の事務手続き、事業実施に際する助言をはじめ、活動時の訪問、支援を実施。あわせてボランティアスタッフ向けの実技指導・安全管理研修会の講師を務めている(実行団体２団体)。	①1

＊進捗状況：1計画より進んでいる 、2 計画どおり進んでいる 、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
1.達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 ☐変更なし　☐短期アウトカムの内容　☑短期アウトカムの表現　☑短期アウトカムの指標　☐アウトカムの目標値
3.非資金的支援の活動に関する報告
1、 海の達人に三重大学 生物資源学部 自然環境リテラシー学(担当教授 坂本竜彦氏)を紹介し、今後、本事業の対象児童が海での活動を行う際に、リテラシー学を学ぶ学生が研究の一環として手伝うように 3 者で相談を進めている。 2、 当財団が直接協力したわけではないが、Ocean's Love が財団のアンケートを活用して、独自にアンケートの集計・分析を筑波大学と行うこととなった。 3、 本事業の活動により子供たちの心の変容等を独自に調査・分析しているコバルトブルー下関ライフセービングクラブに協力し、当財団が一部業務委託している東北大学から当該調査・分析に対するアドバイスを行うこととなった。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
＜資金分配団体＞ ・全実行団体を東京に集めての対面での全体会議を予定していたが、新型コロナの感染拡大のためリモートでの全体会議を 2020 年 11 月、2021 年 6 月、11 月に 3 回目を開催した。2 回目、3 回目では新たなプログラムによる活動事例や活動のための資金を得る手立ての実例を実行団体に発表していただいている。好事例を参考に、各団体にもそれぞれの課題に対して工夫するように働きかけている。 ・実行団体が新型コロナ感染対策としてリモート活動を行うことに備えて、資金分配団体で作製した「水辺の安全教育アプリ」を提供した。 ＜実行団体＞ ・1 回の募集人数を減らし、実施回数を増やして実施 ・参加者、スタッフの活動時のこまめな消毒

・参加者やスタッフの体調管理の徹底(検温、事前体調チェックなど)
・活動時の大声を抑制し、ポーズで応援する(拡声器の使用を含む)
・更衣室の分散
・広い休憩場所の確保
・リモートでの活動　など

① 広報に関する報告

1.　シンボルマークの使用状況
☑自団体のウェブサイトで表示している　☑広報制作物に表示している ☐報告書に表示している　☑イベント実施時に表示している　☐その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：
2.　広報
1.メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB 等） (1)新聞 ・日本海事新聞　2021 年 8 月 23 日　宮嵜寄稿 ・茨城新聞　2021 年 11 月 25 日　龍ケ崎市 B&G 海洋クラブの記事掲載 (2)B&G 財団ホームページへの記事掲載 ・2021 年 5 月　龍ケ崎市 B&G 海洋クラブ　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/ryugasaki.html ・2021 年 6 月　㈲SHIPMAN　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/shipman.html ・2021 年 6 月　オーシャンファミリーと身体教育医学研究所　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/oceanfamily_pedam.html ・2021 年 6 月　第 1 回実行団体全体会議　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/2021_first_meeting.html

・2021 年 7 月　海の達人　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/umi-tatsujin.html
・2021 年 7 月　㈲SHIPMAN　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/shipman02.html
・2021 年 8 月 27 日　コバルトブルー下関ﾗｲﾌｾｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/cobaltblueshimonoseki01.html
・2021 年 9 月 8 日　㈱FEEL　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/feel01.html
・2021 年 9 月 24 日　オーシャンファミリー　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/2021/oceanfamily02.html
・2021 年 10 月 15 日　龍ケ崎市 B&G 海洋クラブ　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20211015_bg-ryugasaki.html
・2021 年 10 月 22 日　コバルトブルー下関ﾗｲﾌｾｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20211022_project-home.html
・2021 年 11 月 1 日　Ocean's Love　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20211101_oceans-love.html
・2021 年 12 月 13 日　第 2 回実行団体全体会議　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20211213_second_meeting.html
・2021 年 12 月 20 日　㈱FEEL　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20211220_feel.html
・2022 年 3 月 3 日　㈱FEEL　　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20220303_feel.html
・2022 年 3 月 10 日　コバルトブルー下関ﾗｲﾌｾｰﾋﾞﾝｸﾞｸﾗﾌﾞ　https://www.bgf.or.jp/kyuminyokin/report/20220310_cobalt-blue.html

(3)その他

①神奈川大学ホームページ

・2022 年 2 月 7 日　人間科学部　渡部かなえ教授が APIAR 学会(アジア太平洋高等研究所) OCMAR-2021 の教育学分野の最優秀論文賞受賞したことが掲載。実行団体のオーシャンファミリーと共同で、休眠預金によりコロナ禍で実施した子供たちの海洋活動の前後での違いなどについて論文発表した。https://www.kanagawa-u.ac.jp/news/details_23068.html

②　APIAR 学会(アジア太平洋高等研究所)ホームページ

・①と同様

https://apiar.org.au/conference-paper/university-health-science-education-during-the-severe-acute-respiratory-syndrome-corona-virus2-outbreak/

2.広報制作物等

3.報告書等 ・2021 年度　B&G トピック集　2022 年 5 月完成 ・2021 年度　B&G 財団　活動実績報告書　2022 年 6 月完成 4.イベント開催等（シンポジウム、フォーラム等） (1)実行団体全体会議 ・第 2 回実行団体全体会議 ・第 3 回実行団体全体会議

④規程類の整備に関する報告

1.　規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。
☑全て公開した　☐一部未公開　☐未公開 →「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：
2.　変更があった規程類に関して JANPIA に報告しましたか。
☐はい　☑いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：規程類の変更はないため、報告はしていない。

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1.　社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
☑はい　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
2.　内部通報制度は整備されていますか。

☑はい　　☐いいえ →「はい」の場合の設置方法（複数選択可）：☑内部に窓口を設置　　☐外部に窓口を設置　　☐ JANPIA の窓口を利用
3.　利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
4.　関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
5.　コンプライアンス委員会は定期的に開催されていますか。
☑はい　　☐いいえ →「いいえ」を選択した場合の理由：
6.　報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
☐内部監査を実施　　☑外部監査を実施　　☐実施する予定がない →「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは 1 枚 2 MG 以下、3～4 枚程度）

●実行団体の活動

全体会議スクリーンショット

スタッフ実技研修

活動風景